

DEBUT!
新型eKの
第2弾

スーパーハイトワゴン誕生!

eKスペース



eK SPACE



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 大代表

三菱
新型
eKスペース
特集号

大人も子供も、乗る人すべてが快適で楽しめる軽自動車を作りたい。そんな想いがカタチになった。eKワゴンをベースに室内空間をより広げたスーパーハイトワゴンであるeKスペースは、クラストップの室内長と室内高を実現し、その名のとおり運転する人も、後席の乗る人も心地よく過ごせるスペースを確保。エッジの効いたスタイル、上質のインテリア、そしてロングスライドレールやサーキュレーターなど、使い勝手のよさと快適空間を実現してくれるアイテムも満載。日常の足として子育て世代をめいっぱい応援してくれると同時に、クルマを所有し、移動する楽しみも提供してくれるeKスペースの魅力は尽きない。その見どころを追っていきましょう。

軽乗用最大級の居住空間—多彩なアレンジ

子育てママを応援する!
「快適」「便利」「安心」



低燃費で力強く走れる
新世代MIVECエンジン

安心・安全なクルマづくり

軽自動車の中では大きいボディを持つeKスペースだが、サスペンションなどを見直して高い操縦安定性を確保すると同時に、危険な状況に陥ることを未然に防ぐアクティブセーフティも充実。

滑りやすい路面での横滑りや、急なハンドル操作による不安定な動きを抑制するアクティブスタビリティコントロール(ASC)を装備し、悪天候下や不安定な路面でも安心して運転することができる。一方で衝撃吸収効果を高めた新設計のボディ構造「R1SE」により、万一の衝突時でもキャビンの変形を抑えて乗員を保護。ボンネットフードなどには歩行者傷害を軽減する構造も採用されている。そして室内に目を移すと運転席/助手席のサイドエアバッグを標準装備(Eを除く)するなど、最新のクルマにふさわしい高い安全性を備えている。



コンフォートフラッシュャー ドアミラー自動展開 ヘッドライトオートカット



カーライフを彩るディーラーオプション

ドレスアップや利便性の向上を図れる
ディーラーオプションパーツも充実している。

ドアハンドルやミラーにメッキカバーを装着してプレミアム感をより高めるメッキパッケージ、室内をイルミネーションで彩るイルミパッケージなど、クルマを持つ楽しさを味わえるパッケージオプションは魅力的だ。また、リモコンエンジンスターター、プラスマクラスターLEDランプなど、利便性を高めたり、あるいは室内の居心地をさらに高めてくれるパーツも用意。いずれもディーラーオプションならではのクオリティ感あふれる仕上がりで満足度も十分。eKスペースに乗る楽しみ、移動する楽しさを倍増させてくれる。



マルチアラウンドモニター

ワイド2DIN型ナビ



メッキパッケージ

プラスマクラスターLEDランプ

マットガード

eKスペース eKスペースカスタム主要諸元表

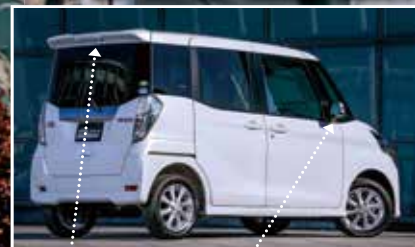
	E	G	カスタムG	カスタムT		E	G	カスタムG	カスタムT
駆動方式	2WD(4WD)	2WD(4WD)	2WD(4WD)	2WD(4WD)	使用燃料・燃料タンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン・30			
トランスミッション	CVT(自動無段変速機)				エンジン最高出力 kW(PS)/rpm	36(49)/6,500			
全長×全幅×全高(mm)	3,395×1,475×1,775				エンジン最大トルク N·m(kgf·m)/rpm	59(6.0)/5,000			
ホイールベース(mm)	2,430				燃料消費率JC08モード(km/ℓ)	26.0(25.4)	26.0(24.6)	22.2(20.8)	
トレッド前/後(mm)	1,300/1,290				最小回転半径(m)	4.7			
最低地上高(mm)	150				タイヤサイズ	155/65R14			
車両重量(kg)	920(970)	930(980)	940(990)	950(1,000)	ステアリング形式	ラック&ピニオン(電動/パワーステアリング)			
乗車定員(名)	4				ブレーキ 前	ディスク(ベンチレーテッドディスク)			
室内寸法(長×幅×高)(mm)	2,235×1,320×1,400				ブレーキ 後	リーディングトレーリング式ドラム			
エンジン型式	3B20 MIVEC				サスペンション 前	ストラット式			
エンジン種類	DOHC 12バルブ・3気筒				サスペンション 後	トルクアーム式3リンク			
エンジン総排気量(ℓ)	0.659								

()内は4WD車の表記です。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。詳しくは販売会社におたずねください。



eKスペース カスタム

カスタムモデルではメッキグリルや大型バンパー、リアスポイラーなどで存在感を強調。



クラストップの室内長と室内高を実現

ゆとりと見晴らしのパッケージング

クラストップレベルの室内長(2235mm)と室内高(1400mm)により、小学5年生ぐらいの子供なら立って着替えも可能な広々スペースを実現。また、広いガラスエリア、低めのウエストライン、細めのフロントピラーとフロントクォーターガラスにより、開放感に加えて視界のよさを確保。運転時の死角を極力減らすことで安全性も高めている。シートはヒップポイント地上高がフロント670mm、リア740mmと着座位置を高めに設定。乗り降りが楽なものに加え、チャイルドシートの着け外しや、後席の子供のケアなどもあまり腰をかかえずにできるのは嬉しい。運転席シートは ±15mmのハイトアジャストが可能で、体格を問わず最適なドライブポジションを得ることができる。



後席ロングスライドとワンタッチ電動スライドドア

後席シートは左右独立(50対50分割)のアレンジが可能で、シートスライド量は260mmと軽自動車では最長。シートを最も前へ出せば運転席および助手席との間隔が縮まり、後席の子供に手が届くのでママに世話をすることができる。一方、最も後ろへ下げるとミニバン並みのレッグスペースが出現し、大人2人でも余裕を持って寛ぐことができる。また、広い床面を活用して子供の着替えなども楽にこなせる。両側スライドドアは運転席からそれぞれ開閉を操作できるだけでなく、スマートキーをバッグなどに持ってれば、ノブのボタンを押すだけでロックの解除と施錠、スライドドアの開閉までOK。さらにキーのボタンを操作すれば反対側ドアの開閉も可能と、操作は自由自在だ。

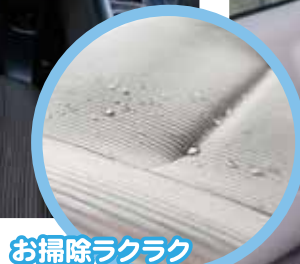


収納とラゲッジ

後席のロングスライド機構はラゲッジルームの使い勝手にも貢献している。シートバックを倒して前方に移動させるだけでほぼフラットな荷室を得ることができ、ゴルフバッグなどの大きなものも悠々と積むことができる。また、左右分割アレンジが可能なので3人乗車で自転車などの大物を積むことも可能。リアゲートは開口幅が1090mm、開口高さが1080mmも確保されているので積み卸しも楽々。さらに室内の小物収納スペースも充実しており、常に室内を整理整頓しておくことができる。



eK SPACE CUSTOM



上質なインテリア

フラットなダッシュボード上面は視界を確保するだけでなく、圧迫感を感じさせず広々感を演出。センターパネルはピアノブラック調で仕上げられ、アイボリーおよびブラックの内装色とのマッチングもよく上質な雰囲気をももしている。シートはeKスペースは手触りのいいソフトファブリックを使用し、撥水加工を施して飲み物などをこぼした場合でも簡単に汚れを拭き取ることができる。カスタムモデルはスエード調ファブリックを採用し、スポーティな雰囲気でもとられている。エアコンなどの操作スイッチはピアノブラック調パネル内にタッチパネルで組み込まれて操作感も良好。くつきり見やすいハイコントラストメーターも運転する楽しさを倍増させてくれる。

後席サーキュレーターやロールサンシェードで快適装備

後席の居心地をさらに向上させてくれるのが天井に取り付けられたリアサーキュレーターと、リアサイドウィンドウのロールサンシェードだ。サーキュレーターは車内の空気をかき混ぜて、冬は暖房による顔のほてりなどを低減し、夏は後席の冷房効果を高める役割を果たす。特に夏場は設定温度をそれほど下げなくても冷房効果を高めることができ、燃費削減にも貢献する。サンシェードは大きなガラス面からの直射日光を遮り、これも冷房効果を高める効果がある。使わないときはドアトリム内に収めておけるのもいい。



後席サーキュレーター

ロールサンシェード

eKスペース

夫婦で格好いい エクステリア

全高1775mmと背の高いボディながら、ボディサイドに大胆に刻まれたキャラクターライン、フロントからリアへと連続するガラスエリアなどの造形でスタイリッシュに仕上げられたeKスペース。



デザインやカラーリングにこだわる子育て世代でも満足できるエクステリアを与えられ、一方で視界の確保、空力性能の向上といった安全面、性能面でも抜かりはない。ボディカラーも深みのあるメタリックカラーがそろえられ、新色のショコラブラウンパール、女性を意識したアンティークゴールドメタリックなど、今までの軽自動車とは違った、eKスペースならではのオシャレでカッコいいコーディネートを楽しめる。



低燃費
26.0km/ℓ
(2WD車)



eK SPACE



アーステクノロジーで 低燃費ながらきびきびした走り

三菱自動車独自のMIVEC(吸気連続可変バルブタイミング)を備えたDOHC12バルブエンジンは、各部の摩擦を低減するなど効率アップが図られ、軽快な走りを実現するとともに低燃費も両立。アルミダイキャスト製のシリンダーブロックを採用するなど軽量化も図られ、エンジンの直立搭載などでエンジン占有スペースを減らして室内空間の確保にも貢献している。カスタムモデルにはよりパワフルなインタークーラーターボ車も用意される。CVTの最適化に加え、減速時の回生エネルギーをニッケル水素電池に蓄電し、走行時の発電抵抗を減らすアシストバッテリー機構によりさらなる燃費向上を実現。JC08モード燃費値26.0km/ℓ(2WD車)を達成している。

UVカットガラス、マルチアラウンドモニターなど便利装備



広いガラスエリアを誇るeKスペースだけに直射日光の射込みが気になる場所だが、全窓に高性能UV吸収膜を塗布した99%UVカットガラスを採用して紫外線をカット。日焼けを効果的に防いでくれる。また、バックするときにはリアカメラの画像がルームミラー内に表示され、ひと目で安全を確認できる。カスタムモデルにはこのリアビューモニター付きルームミラーをより進化させたマルチアラウンドモニター(パードアイビュー機能付き)も用意されており、クルマを上から見た姿を確認しながらの車庫入れなどが可能だ。

Engineer's Voice

三菱自動車工業 鴛海尚弥 氏
おしうみなや



eKスペースでは後席スペースの快適性や使い勝手のよさをまず第一に考えました。ロングスライドの後席をいっぱい前へ出していただければ、運転席や助手席から後席のお子様の手が届くまで距離を縮められますし、逆に後ろに下げると足を組めるほどの広いフットスペースを得られます。荷室のサイズも自由自在にアレンジできますので、この使い勝手のよさをまず確認してください。それと軽自動車では初のリアサーキュレーターは、後席の暑さや寒さを和らげて、自然で快適な居心地のよさを実現しています。室内の広さはもちろんですが、装備の充実などで快適性がより高まっていると感じていただきたいですね。